

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	種苗放流等事業補助金		
担当所属	農林水産課	連絡先	092-332-2088

【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当例規等	糸島市水産業振興対策事業補助金交付規程		
基本目標	基本目標7 地域資源を生かした産業創出のまちづくり		
政策	政策1 農林水産業の振興		
施策	施策⑤ 漁業生産基盤を整備し、つくり育てる漁業を振興する		
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
【目的】 糸島の沿岸漁業を支えるため、定着生物で販売価格の高い水産物の種苗を放流する。 その結果、高齢者が容易に取り組める採貝藻、所得率の高い水産資源の確保により、後継者育成を図るとともに豊かな食の維持につながる。 【対象事業】 糸島漁業協同組合が実施する車エビ・ガサミ・ヨシエビ・クロメバル・クロアワビ・赤ウニの放流事業 【対象者】 糸島市漁業協同組合（受益者：漁業者）	① 車エビ・アワビ・ウニの陸揚金額

【改革案】

今後の実施方向性	現状維持
稚魚や稚貝の放流を続けることで水産資源を確保し、漁業者の所得向上を図るとともに、市民に安全でおいしい魚介類を届けることで、豊かな食の維持につながる。	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 千円／年	51,753	58,206

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	3,000,000	3,000,000

【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題
水産資源の適正な維持・管理の取組として、天然礁と連携した漁場の造成や種苗放流など、つくり育てる漁業の振興が求められている。
現状の周辺環境・課題
沿岸漁業の漁獲量は、年々減少していたが、つくり育てる漁業に取組んだ結果、横ばいに転じており、今後も資源管理とつくり育てる漁業の振興が必要である。
今後の予想される周辺環境・課題
漁場の造成などによって産卵や稚魚の成育の場を確保し、水産資源を維持・管理することが必要となる。特に、収益性の向上をめざして、近海で漁獲できる付加価値の高い水産資源が定着するような施策が求められる。糸島漁業協同組合は、水産資源の回復と環境保全活動のひとつとして、種苗の放流にかなり費用負担していることから、糸島市でも負担の増額が求められる。
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等
海洋環境の維持と水産資源を確保することで、市民に対して、水産物の安定供給を図ることが求められる。